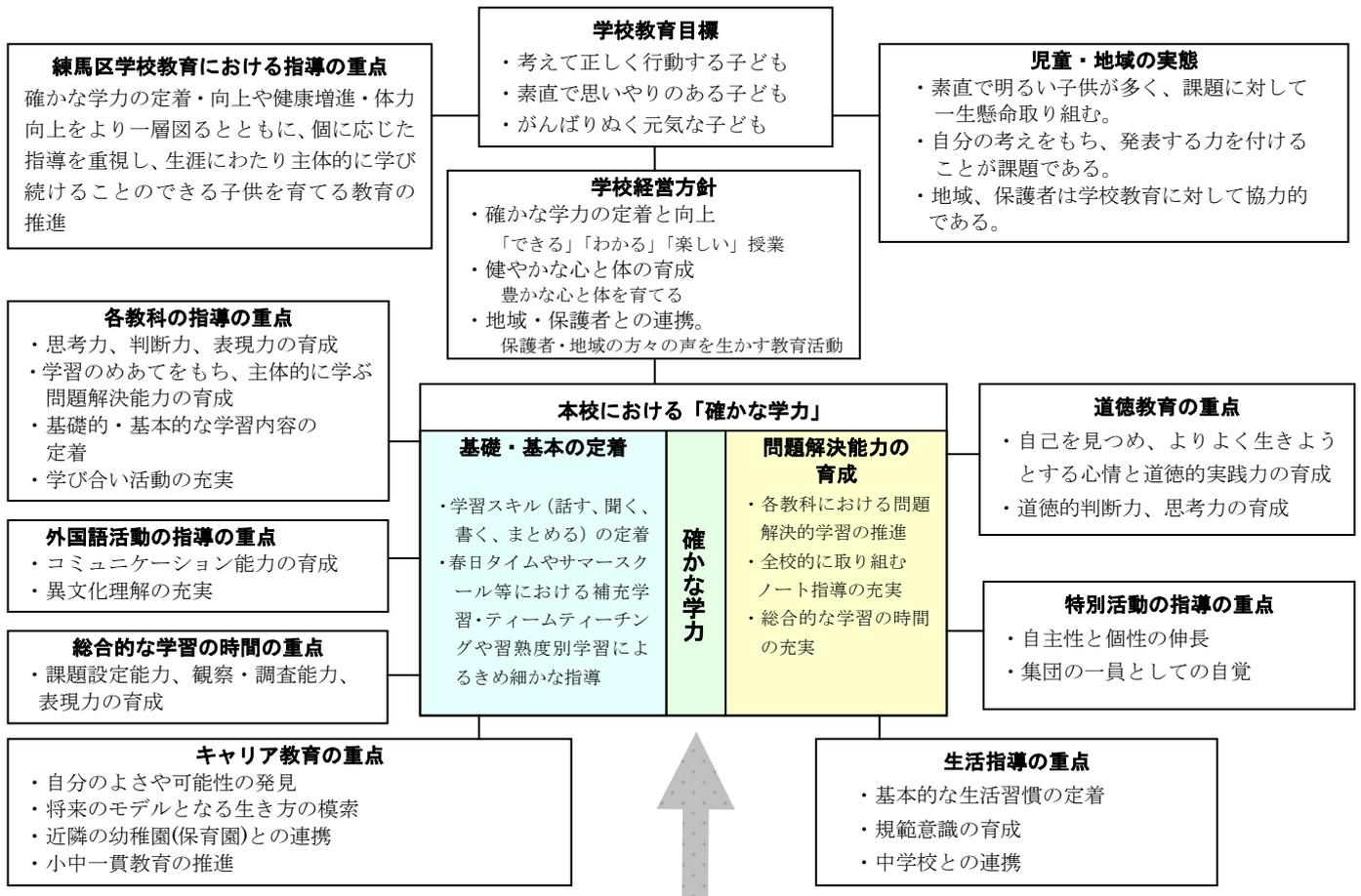


平成27年度 学力向上を図るための全体計画

練馬区立春日小学校



本校の授業改善に向けた視点					
指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫	小中連携一貫教育の視点
<ul style="list-style-type: none"> ・単元や1単位時間における問題解決的な学習を推進する。 ・全校体制によるノート指導の充実を図る。 ・児童に考えさせること、教師が教えることを明確にして指導計画を作成する。 ・学年の発達段階を踏まえた学習スキルの習得を図る。 ・問題解決的な学習における話し合い活動やノート指導の充実を図る。 ・学年合同の課題別学習を実施し、問題解決能力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3学年以上においては算数科において習熟度別学習を行い、基礎・基本の確実な定着を図る。 ・言語活動の充実のために、各教科において対話型の授業を展開し、児童の考えを引き出す場面を設定する。 ・補充の時間(春日タイム)やサマースクールの実施により、国語と算数の基礎・基本の確実な定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「運動を楽しむ児童の育成～できた喜びを味わう体育指導～」を校内研究のテーマに、児童の運動意欲と体力向上を図るため、体育科の授業の改善・充実、及び運動環境の整備を行う。 ・全校一斉運動遊びの充実をし、運動の日常化を図る。 ・学年会における教材研究を週ごとの指導計画に生かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間指導計画に合わせて各単元の評価規準を作成し、評価指標を明確にする。 ・1単位時間ごとのねらいを明確にした週ごとの指導計画を作成し、授業の評価を行う。 ・保護者、地域、児童によるアンケート調査を実施し、結果を踏まえた上で自己評価を行う。その結果を基に学校関係者評価を実施し、授業改善に向け活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者、地域、関係機関等の外部人材の活用を積極的に実施する。 ・幼稚園児や保育園児、高齢者とのふれあい体験を実施する。 ・保護者会、道徳授業地区公開講座、学校保健委員会等を通して、基本的な生活習慣や規範意識の育成への協力を依頼する。 ・地域の行事にできるだけ参加する。 ・地域と連携した防災訓練を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育実践校として作成した課題改善カリキュラムの検証、改善を行う。 ・中学校側の研究授業、及び第2回校区別協議会(小学校)では、近隣小学校とも連携を行い、授業を通して小中一貫教育を行う。 ・第5学年を対象とした中学校の体験授業、部活動体験に参加する。